

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月31日 (2019.1.31)

【公表番号】特表2017-536397(P2017-536397A)

【公表日】平成29年12月7日 (2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2017-529401(P2017-529401)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/519

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/7068

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月10日 (2018.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

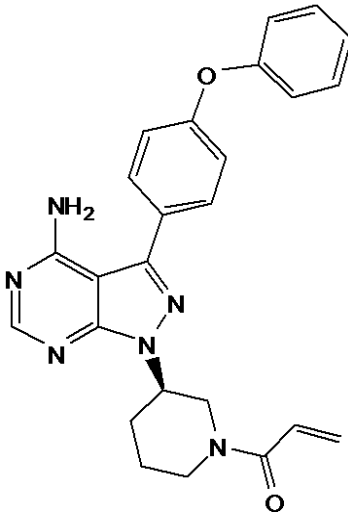
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の線維症を治療するための薬剤の製造のための、以下の構造

【化 1】



を持つ(R)-1-(3-(4-アミノ-3-(4-フェノキシフェニル)-1H-ピラゾロ[3,4-d]ピリミジン-1-イル)プロパ-2-エン-1-オンの使用であって、繊維症は移植片対宿主病(GVHD)に伴わない、使用。

【請求項 2】

前記繊維症は肝臓、肺、脾臓、腎臓、骨髄、心臓、皮膚、腸または関節に発症する請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記繊維症は肝臓に発症する請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記繊維症は肺に発症する請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記繊維症は脾臓に発症する請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】

前記患者は肝硬変、慢性脾炎、嚢胞性線維症、またはがん罹患している請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

前記がんは固形腫瘍がんである請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記固形腫瘍がんは、肛門がん、虫垂がん、胆管がん、膀胱がん、脳腫瘍、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、原発不明がん(CUP)、食道がん、目がん、卵管がん、腎臓がん、肝がん、肺がん、髄芽細胞腫、黒色腫、口腔がん、卵巣がん、脾がん、脾管腺癌、副甲状腺疾患、ペニスがん、下垂体性腫瘍、前立腺がん、直腸がん、皮膚がん、胃がん、精巣がん、喉頭がん、甲状腺がん、子宮がん、膣がん、及び外陰がんから成る群から選択される請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記固形腫瘍がんは脾がんである請求項 8 に記載の使用。

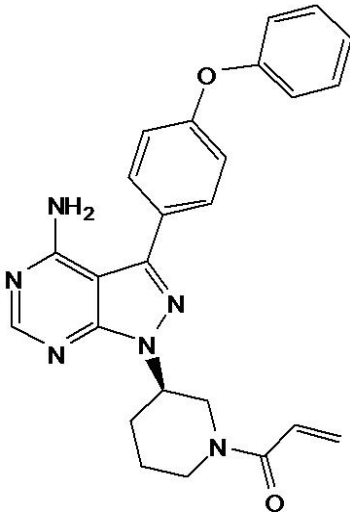
【請求項 10】

前記脾がんは脾管腺癌である請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

患者の脾がんを治療するための薬剤の製造のための、以下の構造

【化 1】



を持つ(R) - 1 - (3 - (4 - アミノ - 3 - (4 - フェノキシフェニル) - 1 H - ピラゾロ [3 , 4 - d] ピリミジン - 1 - イル) ピペリジン - 1 - イル) プロパ - 2 - エン - 1 - オン及びゲムシタピンの組み合わせの使用。

【請求項 1 2】

前記膵がんは膵管腺癌である請求項 1 1 に記載の使用。

【請求項 1 3】

ゲムシタピンのみを投与する場合と比較して患者の生存期間が増加する請求項 1 1 に記載の使用。

【請求項 1 4】

膵臓線維症が減少する請求項 1 1 に記載の使用。